


## E310 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 E310 取扱説明書

### 各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。

### 時刻を合わせる

1. 秒針が 0 秒を指しているときに、りゅうずの位置を **2** にする  
秒針が止まります。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
  - 24 時間針を見て、午前 / 午後の違いに注意します。
  - 時刻を 0 時頃に合わせると、日表示が 1 日進みます。進んだ日表示を戻すには、時刻を 23 時 30 分より前に戻します。日表示の動きが止まってから、手順 3へ進みます。
3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を **0** にする  
秒針が動きはじめます。

### カレンダーを合わせる

- この時計のカレンダーは、月末の日表示合わせを自動で行う「パーベチュアルカレンダー」です。一度合わせると、2100 年 2 月 28 日まで修正の必要はありません。
- カレンダーを修正するときは、年、月、日のいずれかを合わせる場合でも、手順 5-2 まで進めてください。途中でりゅうずを押し込むと、それまでに合わせた内容がすべて無効になります。
- 時計が午後 11 時～午前 0 時 30 分を示しているときは、カレンダー合わせをさけてください。日表示が進まない場合があります。
- 途中で、前の手順に戻ることはできません。最初の手順からやり直してください。
- 表示が動いている間は、次の手順に進めません。

### 1. カレンダーの設定を確認する

- 1-1. りゅうずの位置を **0** にする  
カレンダー窓に日表示が表示されます。
  - 1-2. りゅうずの位置を **1** にする  
カレンダー窓に、月 (Month, M) が表示されます。  
例: 2 月の場合  
    - **A** ボタンを押すと、カレンダー窓にうるう年 (Leap Year, L.Y.) からの経過年が表示されます。  
例: うるう年から 1 年経過している場合
- カレンダーの設定が正しいときは、りゅうずの位置を **0** にして確認を終了します。  
カレンダーの設定を修正するときは、手順 2 に進みます。

### 2. カレンダー合わせに切り替える

- 2-1. カレンダー窓の表示が動き出すまで、**B** ボタンを押し続ける  
カレンダー合わせに切り替わります。
  - 日表示がわずかに上下 (左右) に動く、または入れ替わることにより、合わせる項目が切り替わったことをお知らせします。
  - カレンダー窓の表示の切り替えには、若干時間がかかります。

### 3. 年を合わせる

- うるう年 (Leap Year, L.Y.) からの経過年数に合わせます。
- うるう年経過年早見表は、サポートの「仕様・機能・購入」をご参照ください。  
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

- 3-1. **A** ボタンをくり返し押して、年を合わせる  
**LY 2** 例: うるう年から 2 年経過している場合

- 3-2. **B** ボタンを押す  
月を合わせることができるようになります。

### 4. 月を合わせる

- 十の位、一の位の順で、月を合わせます。
- 4-1. **A** ボタンをくり返し押して、月の十の位を合わせる  
**M 2** 例: 10 月から 12 月の場合
  - 4-2. **B** ボタンを押す  
月の一の位を合わせることができるようになります。
  - 4-3. **A** ボタンをくり返し押して、月の一の位を合わせる  
**M 1** 例: 11 月の場合
  - 4-4. **B** ボタンを押す  
日を合わせることができるようになります。


### 5. 日を合わせる

- 日を、十の位、一の位の順で合わせます。
- 5-1. **A** ボタンをくり返し押して、日の十の位を合わせる  
**0 8** 例: 5 日の場合
  - 5-2. **B** ボタンを押す  
日の一の位を合わせることができるようになります。
  - 5-3. **A** ボタンをくり返し押して、日の一の位を合わせる  
**0 5** 例: 5 日の場合

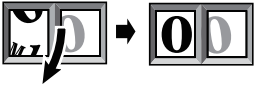
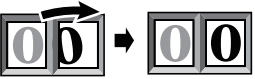
### 6. カレンダー合わせを完了する

- 6-1. りゅうずの位置を **0** にする  
合わせたカレンダーが記憶されます。

## 基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. カレンダー窓の表示が動き出すまで、**B** ボタンを押し続ける  
表示の動きが止まったら、基準位置を確認してください。  
正しい基準位置：  
十の位、一の位ともに「0」がまっすぐ表示されている    
現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。
3. **B** ボタンを押して、確認を終了する  
カレンダー窓に現在の日が表示されます。

## 基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. カレンダー窓の表示が動き出すまで、**B** ボタンを押し続ける  
・表示が動き出したら、表示が現在の基準位置を示して止まるまでお待ちください。
3. りゅうずの位置を **1** にする  
基準位置の修正に切り替わり、カレンダー窓の十の位の基準位置の修正ができるようになります。  
・日表示がわずかに上下（左右）に動く、または入れ替わることにより、合わせる項目が切り替わったことをお知らせします。
4. 「0」がまっすぐ表示されるまで、**A** ボタンをくり返し押す  
・**A** ボタンを押すたびに、表示が少しずつ動きます。押し続けると、連続して動きます。  

5. **B** ボタンを押す  
一の位の基準位置の修正ができるようになります。  
・**B** ボタンを押すたびに、修正できる位が切り替わります。
6. 「0」がまっすぐ表示されるまで、**A** ボタンをくり返し押す  
・**A** ボタンを押すたびに、表示が少しずつ動きます。押し続けると、連続して動きます。  

7. りゅうずの位置を **0** にする  
基準位置が記憶され、カレンダー窓に現在の日が表示されま  
す。

## オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を **2** にする  
すべての針が停止します。
2. **A** ボタンと **B** ボタンを同時に押す  
基準位置とカレンダーがリセットされます。  
・一の位、十の位の順で日表示がわずかに上下（左右）に動くことにより、リセットされたことをお知らせします。
3. りゅうずの位置を **0** にする  
基準位置が記憶され、日表示が「01」と表示されます。

### オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置、時刻、カレンダーを合わせ直してください。